

二本松市郭内地区自主防災会を対象に「流域治水に関する事業説明会」を実施

開催目的・概要

- 流域治水の取組へのさらなる理解・親しみを持っていただくため、二本松市郭内地区自主防災会を対象に、国・県による事業説明会を実施。
- 「阿武隈川緊急治水対策プロジェクト」での河道掘削や上流遊水地群整備の状況とともに阿武隈川流域の流域治水の取り組みについて説明。
上流遊水地群整備地を見学し、遊水地の役割や下流の水位低減効果等について理解を深めた。

日時・対象

- 日時：令和6年11月29日（金）10：00～10：45（事業説明）、11：00～11：45（現地見学）
- 場所：鏡石町健康福祉センター『ほがらかん』、上流遊水地群整備地（鏡石・矢吹・玉川）
- 参加人数：郭内地区自主防災会25名、二本松市職員1名

実施状況

➤郭内地区自主防災会長 挨拶要旨

- ・現地を見て、遊水地や住宅移転が本当に大規模だということがわかった。
- ・上流の理解・協力や、河川管理者のおかげで、二本松は水害から守られている。我々の地区（郭内）は阿武隈川からは離れているが、よく使っている国道4号線やJRが守られている。

➤参加者の主なコメント・質問

- ・地権者や移転対象者は、どのような地内利活用を希望しているのか。
- ・遊水地整備後の耕作希望者は、遊水地内に水が入って作物に影響があった場合に、補償はあるのか。
- ・遊水地掘削により発生した土はどうするのか。
- ・“阿武隈川サミット”のように、流域内で意見交換できる場はどういったものがあるのか。



▲事業説明の様子



▲現地見学の様子（第二遊水地）